2026.10改訂

国立大学法人旭川医科大学 大学病院改革プラン

2024（令和6）年度～
2029（令和11）年度

国立大学法人 旭川医科大学

〇北海道（主として道北・道東）の広範な地域で、高度な医療を提供し地域医療を支える最後の砦としての役割・機能を担う。

〇高齢化・過疎化が進む広大な北海道の医療を支える医療人を育成する教育病院としての役割・機能を安定的に担う。

診療改革

- 北海道医療計画に基づく**医療従事者の確保と資質向上**に寄与するため、**「内科合同会議」「外科合同会議」**を設置。地域の**医療ニーズの収集・課題抽出や改善策立案、医師派遣場所等**を検討。また、本院から多くの職員が参画している**北海道設置の各種協議会等で上記会　議の成果提供や具体的施策を提案。**
- ICTによる**業務効率化を図りつつ紹介・逆紹介を推進**し、**病院間医療連携を発展**させて**地域における機能分担の推進を先導**していく。
- **道北・道東の地域中核病院をハブ**として、**各医療圏域の連携医療機関と繋がり、各医療圏の医療ニーズに合わせた支援体制を確立**していく。併せて、**「マルチタスク型地域医療医」を育成。**
- 多職種連携の**タスクシフト/シェア、医療DXの活用等で段階的に長時間労働を削減し、医師の働き方改革を達成**する。また、DX化の更なる推進により**医師の教育・研究時間を確保**する。
- 中頓別町採択**「離島・へき地における看護師の特定行為研修推進モデル事業」への協力。**

教育・研究改革

- OSCEの公的化に伴う**参加型臨床実習充実**を目的とし、**関連教育病院運営協議会において実習内容等を協議**するなど、**協力体制を深化**。また、**学生評価法の標準化や登録症例の分類分析**による**実習可能範囲の整理**を進め、**臨床協力実施施設**との**実習教育の分担**を図る。
- **看護職のキャリア開発**の視点を踏まえ、**特定行為研修**について**道北・道東地区ニーズ調査**を実施し、**研修プログラムの拡大検討**を予定。
- 本学の**診療・教育・研究力を高め地域医療への貢献を目的**とし、**「地域医療創成プロジェクト」**を開始し、**自治体・企業等による寄附講座設置**を推進。
- 核医学治療及び放射線治療に係る良質な教育環境を医学生・研修医･メディカルスタッフに提供し、**高度医療人材を育成。**
- 若手医師や研修医に対し血管内治療実施環境を提供し、手技の習得だけでなく**「全身管理を俯瞰できる専門医」を育成。**

運営改革

◎医師の働き方改革を達成しつつ旭川医科大学病院としての役割・機能を堅持し、医療や教育・研究の質を維持する。

- 立案から参画している北海道医療計画等に基づき、**旭川市内の基幹病院の連携等を先導**するとともに、**北海道全体の医療提供体制保全について助言・支援を実施。**
- 旭川市の医療提供体制及び今後の基幹病院の在り方等を協議するため、**「旭川市地域医療体制に関する検討会」に参画し、他院の状況を踏まえた本院機能の見直し・調整。**
- **北海道庁等・北海道３大学病院の協議等の場**の設置により、医師派遣方策等の広域医療について協議を実施。
- 高度医療機器導入や医師派遣に関する構造改革による**研究用コホートの創出や拡張、研究成果創出の基盤形成を推進。**
- **医師・看護師の可能な就労形態での病院復帰**や特に**看護職のキャリア開発を引き続き支援**する。また、**病理及び法医学等の本院の役割・機能に必須の人材**について、経営状況を考慮しつつ**計画的に採用**を行っていく。

財務・経営改革

- 各診療科単位の責任**病床数の定期的な見直しによる病床稼働率の向上、病床コントロールチームの発足、病棟医長・師長ミーティングの実施、中央手術室の高稼働維持**とともにDay surgery室や血管造影室の活用推進、特別療養環境室料の見直し、健診・検診（特定健診・がん検診）等の実施推進、自由診療の実施等による収入増の取組実施。
- **計画的な施設整備及び設備・機器等更新、費用対効果を見据えた業務効率化・省エネルギー設備等の導入、品目選定に際する工夫及び共同調達等で医薬品費・診療材料費の低減**を図る。
- 人員の採用について、**財務状況・採算性のみならず地域の医療ニーズの変化等も考慮し、採用を検討**する。
- **財務状況等に応じ課題解決策の見直し等を行い、改革プランの実施を通じて収支及び損益の改善に努めていく。**